

2020年4月26日

東京聖三教会

復活のキリストが皆さんを守り、
励まし、生きる力を与えてくださいますように。



日本聖公会東京教区
東京聖三一教会

2020年4月26日

東京聖三教会

復活のキリストが皆さんを守り、
励まし、生きる力を与えてくださいますように

司祭 マリア・グレイス 笹森田鶴

今日の福音書は、絶望や失望からの再生の物語です。「イエスは生きておられる」という天使の言葉を、確かにそうだと知った事によって、弟子たちが再び生きる希望と力を得たということ、そして復活のキリストこそが人々に命を吹き込むお方であることが今日の福音書のテーマです。

主イエス様が十字架刑によってお亡くなりになり、三日後に墓が空になっていたことを、女性たちを通して弟子たちが知った、その日の出来事です。二人の弟子たちはエルサレムから 11 キロ程離れたエマオへ向かっていました。

どうしてエマオへ向かっていたのか、その理由や目的は聖書には記されていません。ただ、彼らはイエス様が極刑によって殺され、墓に葬られたこと、また女性たちや他の弟子たちがイエス様は生きていと天使が語ったと言っているにもかかわらず、墓は空であったと語り合っています。

「わざにも言葉にも力ある預言者」への自分たちの期待が一気に砕かれ、絶望にいた弟子たちにとって、イエスが生きていという一報は

絶望の淵からの光明に思えたはずです。

しかし、そのイエス様を見つけ出すことができない状況は、更に失望感を増すこととなりました。そのような思いを抱えながら、二人はエルサレムを去ってエマオへ向かって歩いていました。

そこに復活されたキリストが登場されます。

主イエス様はこのような二人とともに歩きながら、また同じ部屋の中で日常の生活をともにしながら、二人の心を開いてくださいました。

主イエス様が示されたのはふたつのことです。ひとつは聖書(今のわたしたちにとっての旧約聖書)、そしてもうひとつはパン裂きという行為です。しかも聖書については、すべてのことを丁寧にご自身とのつながりも含めて説き明かしをしてくださいました。それでも二人の弟子たちは一緒にいる方が主イエス様であることすら分かりません。

そこでさらに主イエス様は、かつて弟子たちのためにいつもして下さっていた様にご自身がパンを取り、祝福して割いて渡してくださいました。

とうとう二人の弟子たちの目は開かれ、目の前の方が主イエスさまであることを知ります。その直後、主イエス様の姿は見えなくなってしまう。

あれだけ会いたかった主イエス様の姿が消え去った後も、彼らは気落ちすることなく、聖書について説き明かしして下さった時に心が燃えていたことを思い出します。そしてもう一度エルサレムに向かって歩き出します。

もはや二人は以前の二人ではありませんでした。同じ世界に、しかも主イエス様はすでに亡くなってしまわれたという悲劇を経た後の世界に彼らは同じ様に生きていたはずですが、しかしながら、それでも二人にとってすでにこの世界は違っていました。世界は変わっていませんが、二人が大きく変化したのです。それは今も生きているキリストに出会うことによって与えられたものでした。聖書のみ言葉によって心は燃え、パン裂きによってすべてを知ることとなったのです。

残念ながら、今のわたしたちの状況では、ご一緒にキリストの主宰される食卓を囲むことはできません。また、神の家族のこの世でのお別れにも立ち会えないという、心が張り裂けそうな事態にもなっています。

それでもわたしたちはもうひとつの方法によって復活のキリストに出会い、心を燃えさせてもらうのです。聖書のみ言葉に触れ続けることです。繰り返し、繰り返し、触れ続けることで、わたしたちは復活のキリストとともにいることが可能になるのです。

そしてわたしたちが自分で心を燃やすのではなく、キリストが聖書のみ言葉によってわたしたちを励まして、歩みだす力を与えてくださるのです。わたしたちがエマオに立ち寄ろうとしても、先に進まれるキリストがわたしたちを先導してくださっています。

復活のキリストに出会うということは、わたしたちがこの世界の中にありながらも再生すること、大きく変化することです。わたしたちは現在のこの世界に生きながらも、心を燃やすことができるはずですが、現実のこの世界に復活のキリストが生きておられることを垣間見ることができるはずですが。

キリストが招いてくださる主の食卓を再びわたしたちが共に囲む時を迎えるまで、み言葉によって心の火をともし続けて参りましょう。今はすべてを知ることができずとも、それを不安に思うだけではなく、それでも尚日々を過ごしていることは主によって生かされていることだと受け止め、喜びとしましょう。み言葉によってキリストが共にいてくださることを確信し続けて参りましょう。

復活のキリストが皆さんを守り、励まし、生きる力を与えてくださいますように。

病の中にある方々、亡くなられた方々、また医療従事者の方々、生活を支えてくださっているすべての方々のために祈ります。

父と子と聖霊のみ名によって、アーメン。